

## 令和7年度3学期分 東久留米市学校給食運営協議会議事録

開催日時	令和8年 1月23日（金）午後3時00分～午後4時00分
会場	東久留米市役所 7階 703会議室
出席者	協議会委員：30名（欠席2名、付添参加1名） 事務局：教育部学務課
傍聴者	0名

### 【議事内容：要点記録】

#### 1 くるめ産給食の日について

- ・ 東久留米市の学校給食では、食育に活用する等の目的で日々の給食に地場産農産物を使用しているが、くるめ産給食の日では、地場産農産物をふんだんに使用した共通の給食を食べることで、地場産農産物の多様性を知り、味わうことで郷土愛を育むイベントとして、平成26年度から毎年行っている。
- ・ 昨年度までは特定の一日に、全小中学校一斉に実施していたが、今年度は12月1日から5日までの期間に実施校を振り分けて行った。その結果、農家さんから多くの学校に納品がいただけた為、例年より多くの地場産農産物を使用することができた。
- ・ 小学校の献立は、東久留米特産の大根を使った「くるめスパゲッティ」、地場の野菜を使用した「旬野菜のサラダ」、地場のさつま芋と柳久保小麦を使った「さつま芋とりんごのケーキ」だった。
- ・ 中学校では、ランチボックスに盛り付ける関係上、くるめスパゲッティは副菜のくるめパスタとして提供した。また、全体のメニューに合わせて、汁物をミネストローネとし、東久留米産のキャベツ、人参、もち麦を使用した。ご飯のおかずには魚のフリットをつけ、豪華な献立とした。
- ・ くるめ産給食の日は、市長、教育長などが毎年学校訪問し、児童と一緒に給食を食べているが、今年度はくるめ産給食の日、開始以来初の中学校を訪問した。訪問時には、生徒が手作りの席札を用意してくれた。これからも、地場産農産物のさらなる活用を目指すとともに、安心・安全でおいしい給食提供に努めていく。

## 2 学校給食についての懇談

---

### 懇談会

---

(保護者委員)

- 他の保護者委員に伺いたい。今までの給食運営協議会の内容などを、他の保護者にどのように共有しているか。
  - ⇒ (保護者委員) PTA だよりや LINE により、内容を簡略化した上で共有している。
  - ⇒ (保護者委員) PTA への負担軽減の目的から共有はしていない。
  - ⇒ (保護者委員) 配布された資料を、PTA 本部に共有している。
  - ⇒ (保護者委員) 本部へ共有のみだが、試食会が近日中に開催予定なので、その中で共有したい。
- 市立第九小学校の取組で、給食の生ごみをたい肥にする活動を実施しており、ぜひ市内の他校でもそういった取組を進めて欲しい。
  - ⇒ (座長) ご意見は承った。各校の栄養士に、ご要望を伝えることとしたい。
- 完食しないとおかわりが出来ないということではなく、残食を減らす取り組みとして、市でおかわりのルールを統一して欲しい。
- おみくじシュウマイなど、楽しい給食を考えてもらえていることが嬉しい。
- 我が家では出ない食材が、給食で提供され助かっている。
- 給食運営協議会に出席したことで、中学校給食の情報が得られて良かった。
- 今年の給食運営協議会で抽出された課題について、来年度の協議会の中で改善状況を示してほしい。
- 給食時間が短いので、ゆとりを持って、楽しんで食べられる環境が整うと良い。
- 子どもから給食がとても美味しいと聞いていたので、試食会に参加し実際に食べてみたが、本当に美味しかった。家庭では食べない野菜でも給食ではよく食べる為、レシピを知りたい。
- 市内の野菜をたくさん使っていることや、多くの方が関わって給食が作られていることを知れてよかった為、他の保護者に共有したい。
- 中学校給食は量の調整が出来ない。また、注文時の写真が美味しそうに見えないので改善して欲しい。
- 子ども達は給食の感想で盛り上がっている。また、中学校給食の AB 選択が無くなったことで、注文し忘れが無くなった。
- AB 選択が無くなって悲しいと言っている声も聞くが、あたたかいスープが始まり、給食が美味しくなった。
- 中学校も給食費が無償化されて感謝している。農家さんや、調理員さん、栄養士さんがどれだけ子ども達を思って、給食を提供してくれているか感じられた。

- ・ 人気のメニューをもっといっぱい出してほしい。
- ・ 給食運営協議会に参加して、毎日当たり前に作られている給食について勉強ができた。こういった機会を引き続き持つてほしい。
- ・ 市内の生産者さんが、こんなに多くいたことに驚いた。地産地消の取組は引き続き進めて欲しい。
- ・ くるめ産給食の日で、市内の特産品が知れた事ありがたい。生産者の方をより身近に感じる意味合いからも、畑の場所が明記されていると、より親近感がわくと思う。

(給食受託事業者委員)

- ・ 保護者並びに学校関係者の皆さまのおかげで、安定的な給食提供が出来た。今後も一層の衛生管理を徹底していく。
- ・ 今日視聴した、生産者の顔が見える動画は、大変勉強になった。引き続き、子ども達の為に頑張ってもらいたい。
- ・ 二学期から開始したあたたかい献立の提供は、三学期に入って安定してきている。給食運営協議会の中でも、保護者の方から美味しいといってもらえたことは励みになった。引き続き、安全でおいしい給食を提供していきたい。

(栄養士委員)

- ・ 毎日試行錯誤をしながらあたたかい献立を検討している中、生徒の声を聴きながら美味しい給食を提供していきたい。注文時の写真が美しく撮れるように努力していく。
- ・ 人気のメニューもたくさん食べてもらいたいが、普段あまり食べない食材も取り入れて色々な体験をしてもらい、楽しい給食の時間にしていきたいと考えている。
- ・ 美味しいだけでなく、楽しい給食時間を作っていく。郷土料理や世界の料理などを紹介し、給食に興味を持ってもらえるよう、日々の献立作成に取り組んでいる。

(給食調理員委員)

- ・ 保護者の皆様の意見を伺えて、身が引き締まるおもしろい。これからも安心安全な給食提供を進める。
- ・ 地産地消の取り組みは、引き続き進めていきたい。

(副校長委員)

- ・ 二学期からあたたかい献立が開始され、保護者の意見が変わったことを実感している。黙食だった頃から思い返すと、その時から比べると、あたたかい献立の提供も始まり状況が変わったと感じている。給食時間をこれからも、より楽しい時間になりたい。

## 4 その他

---

あたたかい献立の提供に関する、生徒へのアンケートに関する報告（栄養士委員）

市内全7中学校の生徒を対象としたアンケートについて、結果の一部を紹介する。

市内全7中学校の生徒 2,061名のうち、スクールランチの汁物を飲んだことがあると回答があった生徒は 1,976名で、回答者の 96%が飲んだことがあるとの回答だった。

「温かい汁物の提供について、全体的にどう思いますか」という質問では、汁物を飲んだことがあると回答した生徒の 76%が、あたたかい汁物の提供について「とてもよい」と感じているとの回答だった。

「温かい汁物を楽しみにしていますか」という質問では、飲んだことがあると回答した生徒の 58%がとても楽しみと感じ、38%の生徒は普通と感じ、4%の生徒が楽しみでないと感じていた。

「汁物の味付けについてどう感じますか」という質問では、ちょうどよいと答えた生徒が 71%、薄いと回答した生徒が 19%、濃いと感じた生徒が 10%だった。

以上が、速報となるが、アンケートではあたたかい献立に関する質問の他、今年度の中学校の懇談の場でも話題にあった、ランチの量に関する設問もある。今回、紹介できなかった部分も含め、全体のアンケート結果は、2月又は3月の給食だよりに掲載したいと考えている。